

玄関ドア アフェクト

施工要領書

このたびは、新日軽の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
 商品の組み立ておよび取り付けには、この施工要領書をよくお読みになり、正しく・美しく仕上げてください。
 この要領書は必ずシーリング作業をされる業者の方へお渡しください。
 部品箱に同梱されている取り扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。

組み立て・取り付け上の注意事項

- ここに示した注意事項は商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたって必ずお守りください。
- ① 玄関ドア以外への使用および改造は行なわないでください。
- ② 指定の部品およびオプション品以外のものは使用しないでください。
- ③ ねじ止め・釘打ち箇所は指示してあるねじを確実に止めてください。
- ④ シーリング（コーキング）は塗布箇所を十分に清掃し、指定箇所全てに対し確実にこなってください。
- ⑤ ドア本体は重たいため、建て込みの際には、足元や周囲に十分に配慮してこなってください。
- ⑥ 組み立て・取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉動作や施錠が正常に行なえることおよび使用上の不具合がないことを確認してください。
- ⑦ 引渡前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- ⑧ 施錠した状態で枠とドア本体のチリ寸法が均一であるかどうかご確認ください。不具合がある場合は確実に建て付け調整を実施してください。

商品構成

*OOOOABOR(L) 単体枠 枠セット (本梱包) + ドア本体 (別梱包) + 部品箱 (別梱包) + ※ オプション

*OOOOBAOR(L) 親子枠(入隅)
 *OOOOAAOR(L) 親子枠
 *OOOOAEOR(L) 両開き枠 枠セット (本梱包) + ドア本体 (別梱包) + 子ドア (別梱包) + 部品箱 (別梱包) + ※ オプション

※オプションは、木目外部額縁(大/小)・木目室内額縁・木目アングル・アンカー(上枠・縦枠用)・郵便受箱・丁番スペーサー・丁番平座金・ドアクローザ(両開き子ドア用)・木ねじ穴用ホールプレート・下枠カバー(ユピテルⅢ用)を用意しています。
 取り付け・施工に際しては、オプション品に同梱の施工要領書をお読みください。

梱包内容

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容にもご注意ください。)
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または新日軽株式会社までご連絡ください。

| 枠セット | |
|-------------|------------|
| *DKWABTR(L) | *DKWABR(L) |
| *DKWBATR(L) | *DKWBAR(L) |
| *DKWAATR(L) | *DKWAAR(L) |
| *DKWAETR(L) | *DKWAER(L) |

| 区分 | 名称 | 数量 |
|----|---------------------------------|---------|
| 部 | 上枠 | 1本 |
| | 下枠 | 1本 |
| | ※1下枠幅木 | 1本 |
| | 縦枠(左) | 1本 |
| | 縦枠(右) | 1本 |
| | 補助材(上) ※2 | 1本 |
| | 補助材(堅) ※2 | 2本 |
| | 目板(上) | 1本 |
| | 目板(堅) | 2本 |
| | ドアクローザ | 1個 |
| 品 | ホールプレート | 4又は8個 |
| | アンカー(下枠用) | 3~5個 |
| | タッピンねじ2種丸 4×37×8G5 (枠組み立て用) | 4本 |
| | ※1タッピンねじ2種丸 4×50×8G25 (枠組み立て用) | 4本 |
| | | 4本 |
| | ※テクスねじなべ 4×10×8 P=0.7 (幅木取り付け用) | 1本 |
| | 木ねじ丸 4.1×56×7.6 (枠取り付け用) | 16~21本 |
| | 木ねじ丸 3.1×25×5.7 (枠取り付け用) | 19~22本 |
| | 小ねじ皿 4×20×8 (丁番取り付け用) | 15又は30本 |
| | 施工要領書 | 1部 |

| ドアセット | |
|-------|----|
| 名称 | 数量 |
| ドア本体 | 1体 |

| 子ドアセット | |
|--------|----|
| 名称 | 数量 |
| 子ドア | 1体 |

| 部品箱セット | |
|--------|------|
| ドア本体用 | |
| 名称 | 数量 |
| ハンドル | 1セット |
| シリンダー | 2個 |
| 空錠 | 1個 |
| 取扱説明書 | 1部 |

| 両開き子ドア用 | |
|---------|------|
| 名称 | 数量 |
| ハンドル | 1セット |

| オプション | | | | |
|-------|---------|--------------|---------------|----------------|
| 外部額縁 | アングル | アンカー(上枠・縦枠用) | 郵便受箱 | ドアクローザ(開き子ドア用) |
| 丁番平座金 | 丁番スペーサー | 木ねじ穴用ホールプレート | 下枠カバー(ユピテルⅢ用) | |

※1 下枠幅木・タッピンねじ2種丸 4×50×8G25(4本)・テクスねじなべ 4×10×8 (1本)については、幅木付枠にのみ同梱されています。
 ※2 枠部材に取り付けてあります。

① 枠の組み立て

• 補助部材にテープで仮止めしてある目板を取り外し、図-1の要領で枠を組み立ててください。

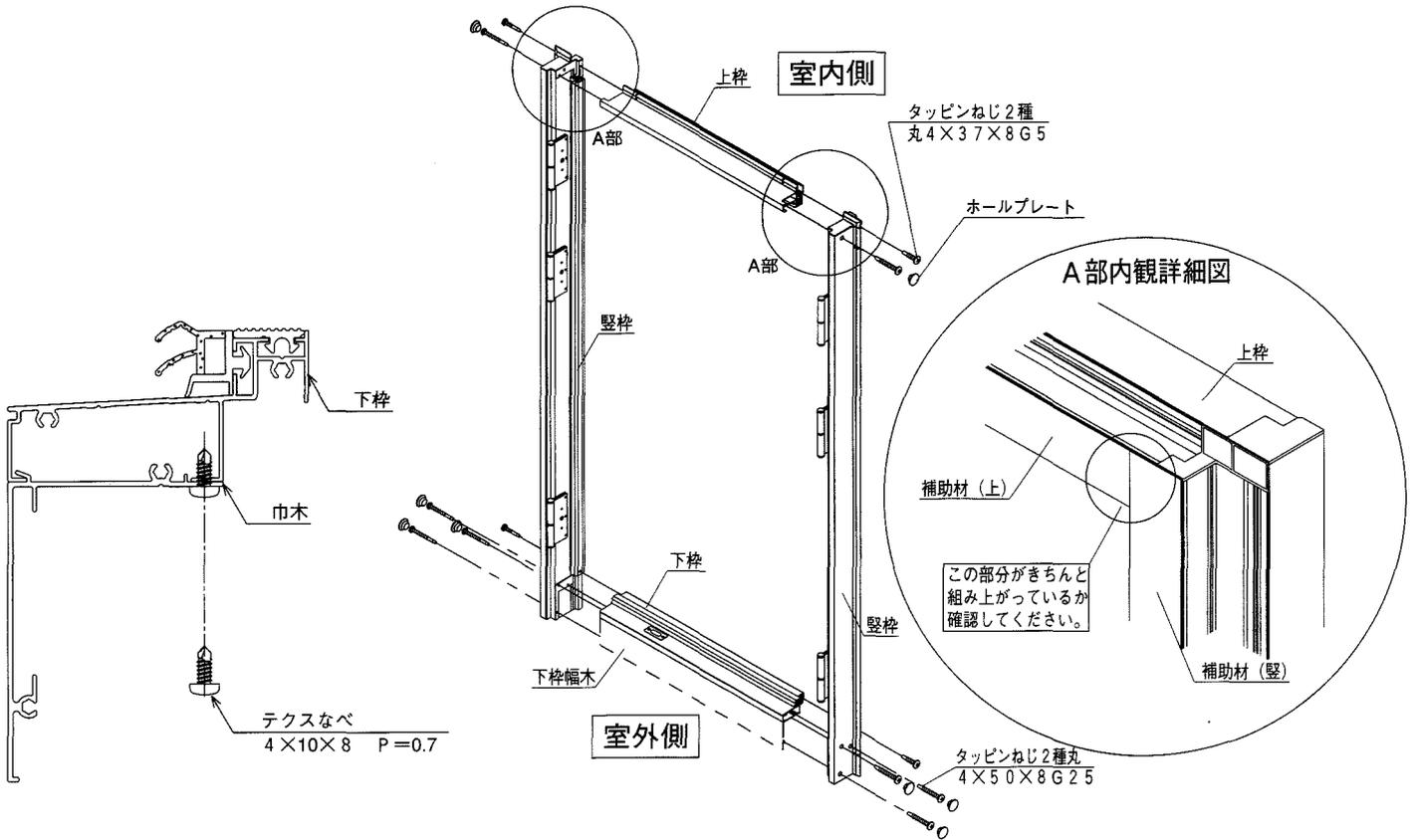


図-1

② 躯体への取り付け

• 図-2・3のように同梱の木ねじで枠を躯体に取り付けてください。
 • この時、目板はまだはめ込まないでください。

注意

- 取り付け前に、取り付け躯体の水平・垂直・開口寸法をご確認願います。
- 取り付けの際には、枠の水平・垂直・対角寸法をご確認のうえ、ゆがみやねじれ、上枠の張り上げのないように取り付けてください。

※コンクリート納まりの場合は、アンカーBA1140[上枠・縦枠用](オプション)、WD1811[下枠用](同梱)をご使用ください。

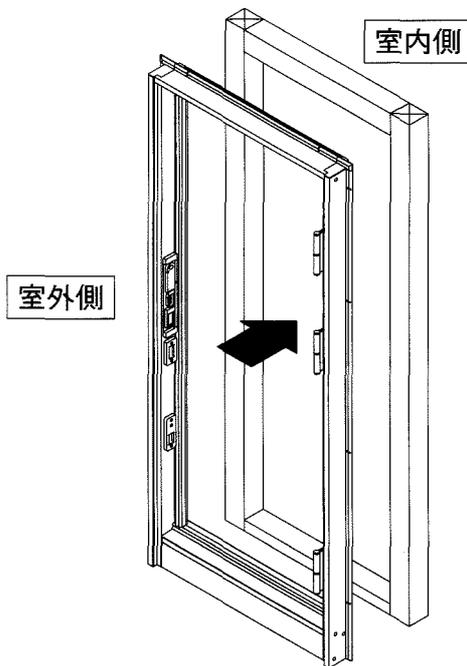


図-2 本図は右勝手を示します。

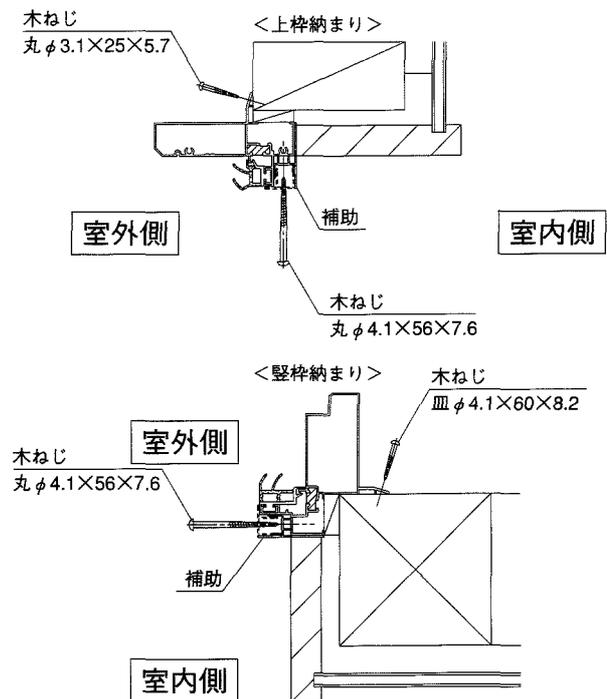


図-3

③ ドアクローザの取り付け (ドアクローザに同梱の取り付け説明書も併せてお読みください。)

- 枠を躯体に取付後、目板をはめる前にドアクローザを、枠およびドアの加工穴に合わせて図-4の要領で取り付けてください。
(取り付ける前にA部の六角ボルトを外しておいてください。)
- アームブラケット取り付け後、図-5のように①上枠②左右縦枠の順に目板をはめ込んでください。
※万一、アームブラケットを取り付ける前に、目板(上)をはめ込まれた場合には、目板端部にて⊖ドライバー等で目板を取り外してください。
- 商品切替えなどで図示したものと異なるドアクローザが取り付け場合があります。
ドアクローザに同梱の取り付け説明書をよく読み、正しく取り付けてください。
※*〇〇〇〇AEO(両開き枠)の子ドアにドアクローザ(オプション)を取り付ける際には、枠および子ドアの取り付け穴についているホールシールをはがして行なってください。

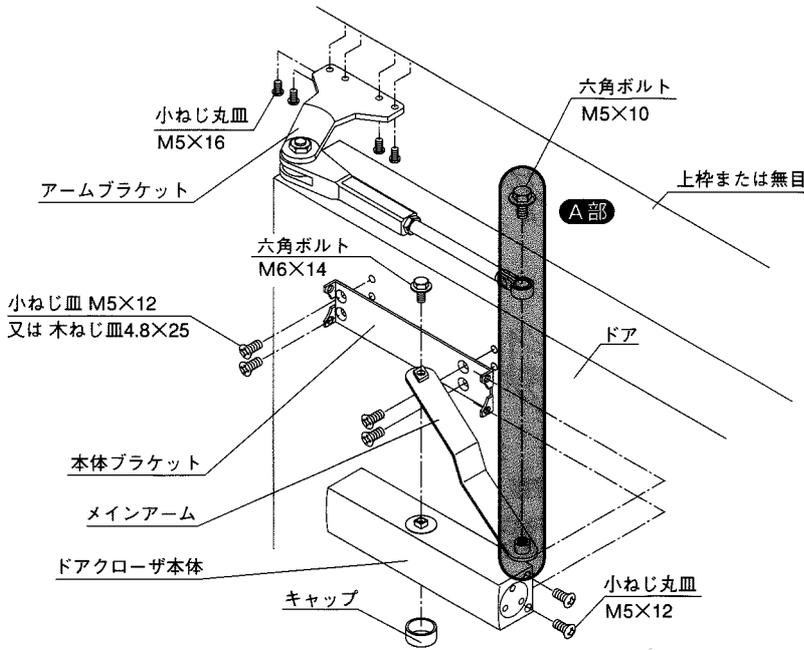


図-4 本図は右勝手を示します。

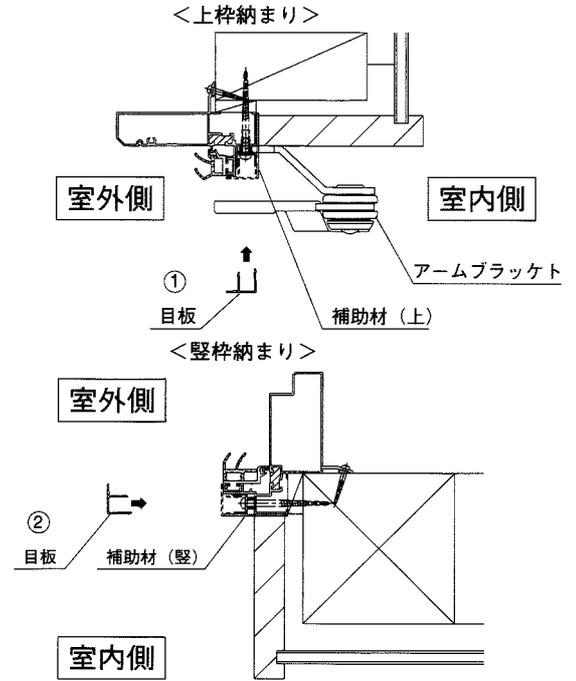


図-5

④ ドアの建て込み

- 枠側にテープ止めされている丁番を外し、図-6の要領でドアに取り付けてください。
※丁番スペーサー ドア用: WD3176(同梱)・・・ドアには、標準で入れておいてください。
枠用: WD2008(オプション)・・・建て付け調整が必要な時のみ使用してください。
- ドア建て込みの際には、図-7の要領でドアを90°以上開いた状態で丁番軸心を合わせ、落とし入れてください。
- 子ドアの場合も、同様に行なってください。

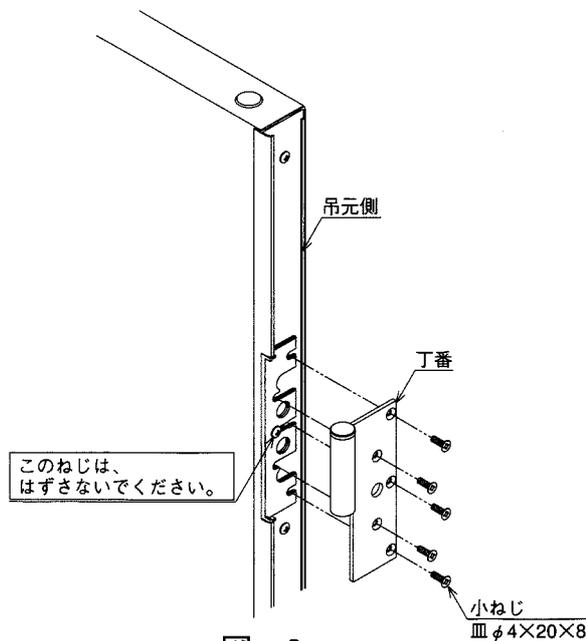


図-6

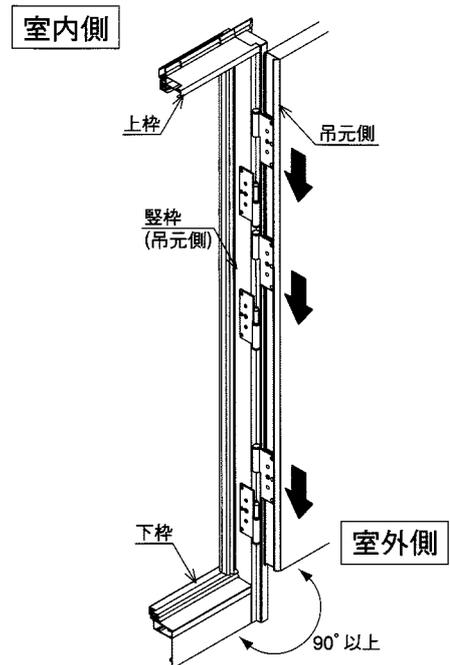


図-7

⑤ ハンドルの取り付け (部品箱に同梱の取り付け説明書も併せてお読みください。)

- プッシュプルハンドルGタイプ(図-8)、プッシュプルハンドルPタイプ(図-9)、レバーハンドル(図-10)は、下図要領にて取り付けてください。

部品箱に同梱の取り付け説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

〈プッシュプルハンドルGタイプ〉

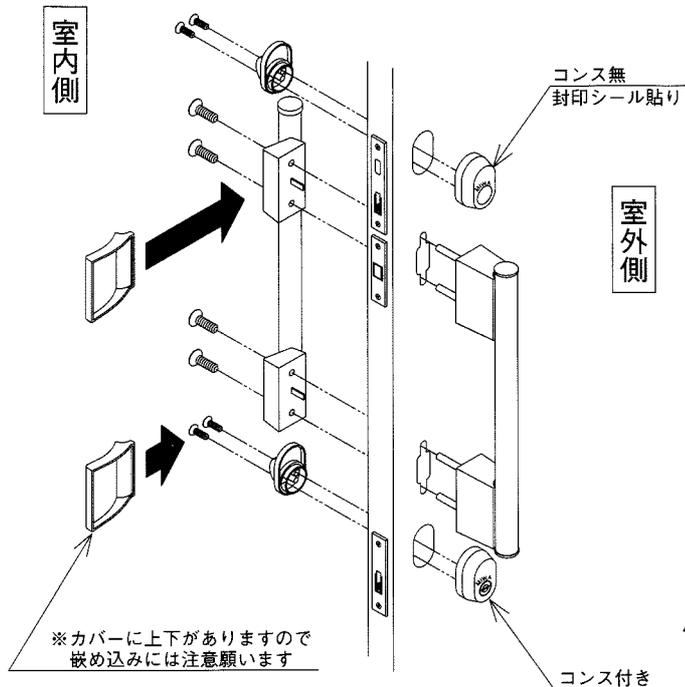


図-8

〈プッシュプルハンドルPタイプ〉

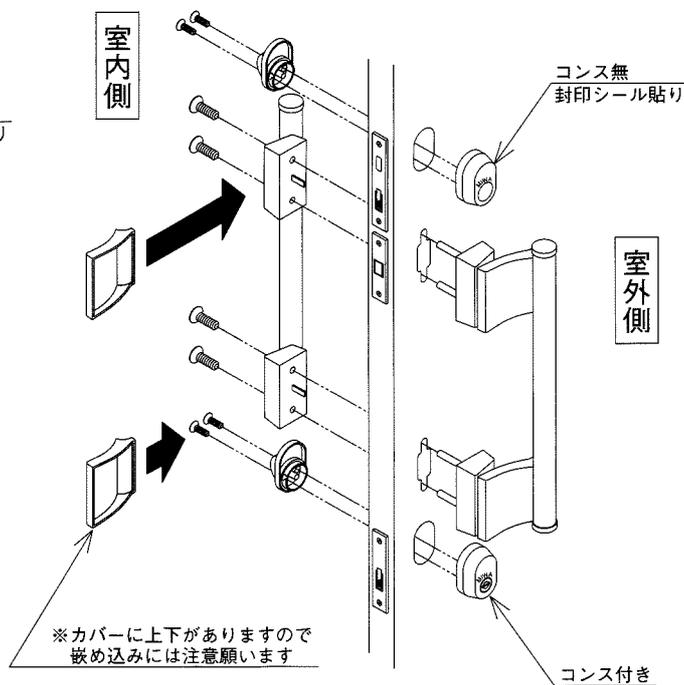


図-9

〈レバーハンドル〉

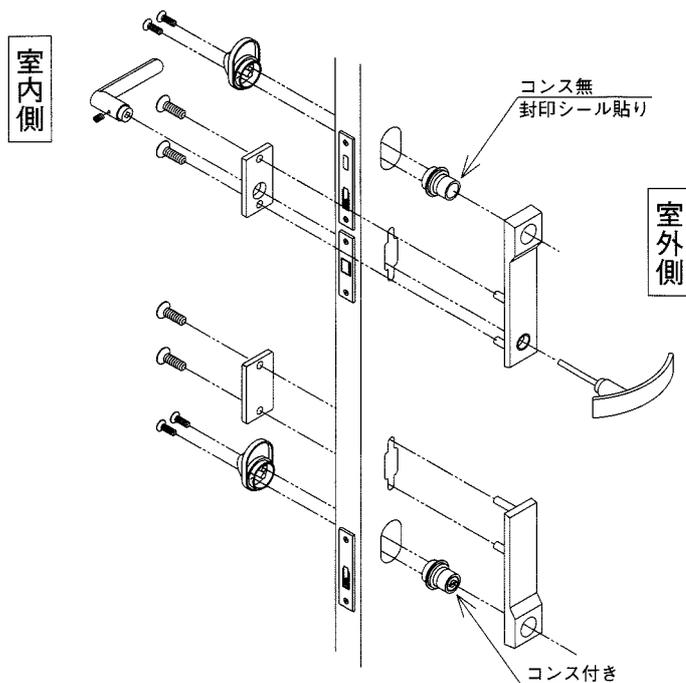


図-10

図-8、9、10は右勝手を示します。

⑥ 建て付け調整

※この建て付け調整は、枠を取り付けた後で調整が必要になった場合の補助的なものです。

●左右方向の調整(図-11)

ドア側丁番での調整方法

《ドア側の調整量》スペーサーを2枚外すと 3.0mm
中央で切って1枚だけ外すと 1.5mm

調整できます。

(中央で切った際、スペーサーにバリが出ることがありますが機能上特に問題はありません。)

- 1) ドアの丁番取り付けねじ(6本)をゆるめてください。(ねじは完全に取り外さないでください。)
- 2) ドアに取り付いているスペーサーを引き抜いて外してください。(図-12)
- 3) 丁番取り付けねじを締め付けてください。

注) スペーサーを抜く場合には、丁番と堅枠がぶつからないようにドア側の丁番取り付けねじを調整し、A寸法(図-13)を0以上としてください。

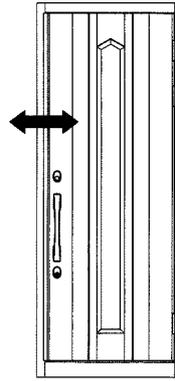


図-11

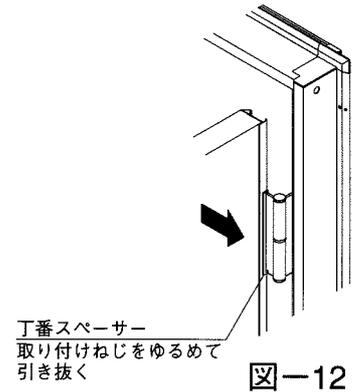


図-12

枠側丁番での調整方法

※この調整には丁番スペーサー(オプション)が必要です。

《枠側の調整量》スペーサーを2枚入れると 3.0mm
中央で切って1枚だけ入れると 1.5mm

調整できます。

(中央で切った際、スペーサーにバリが出ることがありますが機能上特に問題はありません。)

- 1) 枠の丁番取り付けねじ(6本)をゆるめてください。(ねじは完全に取り外さないでください。)
- 2) 丁番スペーサーWD2008(オプション)を調整分だけ枠と丁番の間に挟み込んでください。
- 3) 丁番取り付けねじを締め付けてください。

注) スペーサーは3枚以上入れると、枠とドアが接触し開閉し難くなる場合があります。

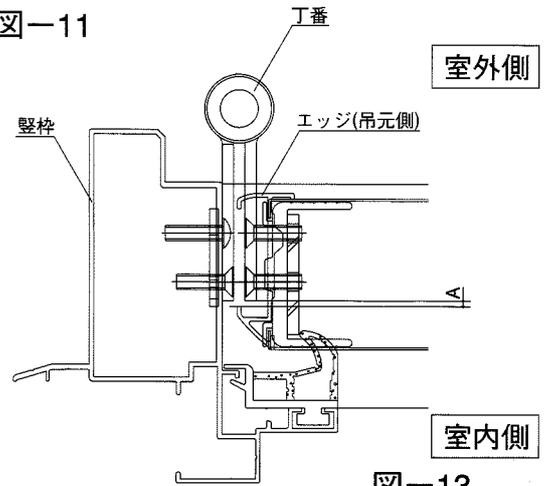


図-13

●上方方向の調整(図-14)

※この調整には丁番平座金(オプション)が必要です。

《調整量》平座金を1枚入れると 1.5mm
平座金を2枚入れると 3.0mm
ドアが上に上がります。

- 1) ドアを枠から外し、図-15のように丁番軸心に平座金PH4953(オプション)を調整分だけ入れてください。
- 注) 平座金を3枚以上入れると、上枠とドア上部が接触し開閉し難くなる場合があります。

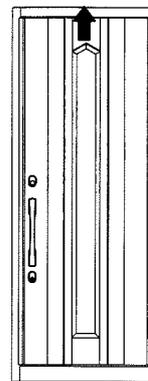


図-14

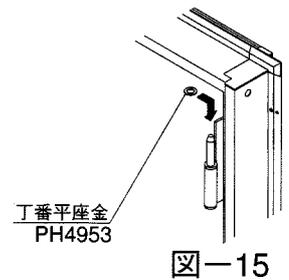


図-15

●見込み方向の調整(図-16)

《調整量》枠丁番を室外側へずらすと ~2.0mm
枠丁番を室内側へずらすと ~2.0mm
トータル4mm調整できます。

- 1) ドアを枠から外し、枠側の調整する丁番の取り付けねじ(6本)をゆるめてください。この際に、ねじは完全に取り外さないでください。
- 2) ねじをゆるめた後、丁番を室内または室外側の調整位置に合せてねじを締め付けてください。(図-17)

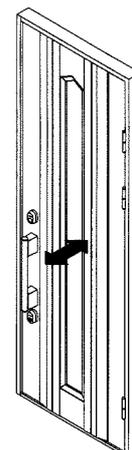


図-16

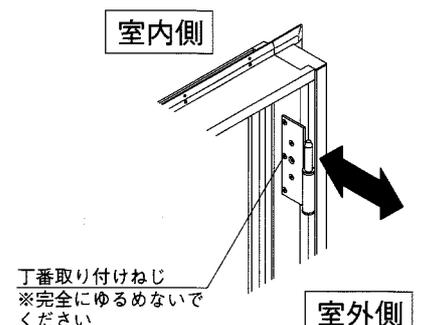


図-17

以上の調整が完了しましたら、ドアを枠に吊り込み再度ドアの開閉に支障がないことをご確認ください。開閉に支障がありましたら再度上記調整方法にて調整願います。

⑦ ストライクの調整

- ストライクの調整は、図-18の要領で取り付けねじをゆるめ、上下前後(室内・室外側)にずらし、ドアがガタつかずラッチがスムーズにかかる位置に固定してください。

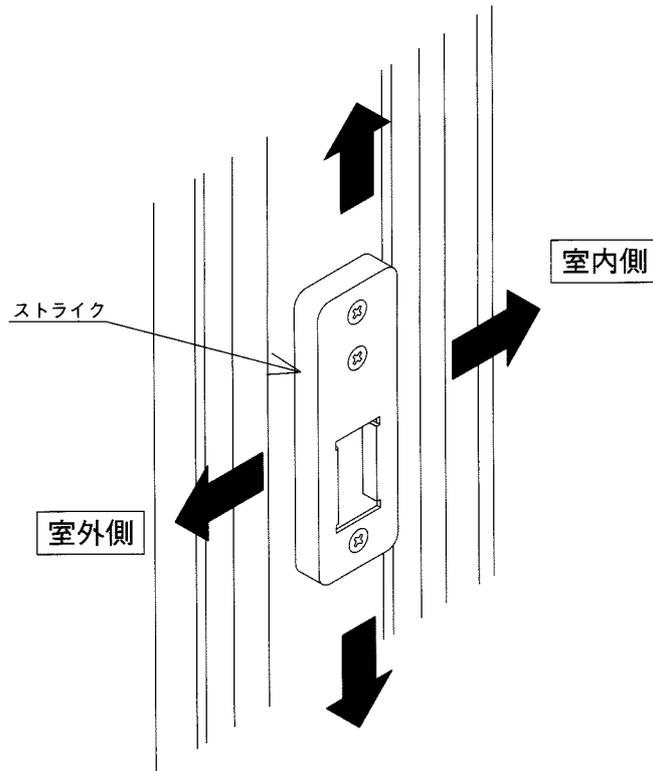


図-18

⑧ ガードロックの調整

- ガードロックの調整は、図-19の要領で行なってください。
 - 下図の調整カムを⊕ドライバーで
時計回りに45°回すと 1.5mm
さらに45°回すと 3.0mm 調整できます。
- ※調整カムを初めの位置から無理やり反時計回りへ回したり、初めの位置から90°以上無理やり回さないでください。
調整カムが壊れ、調整ができなくなることがあります。

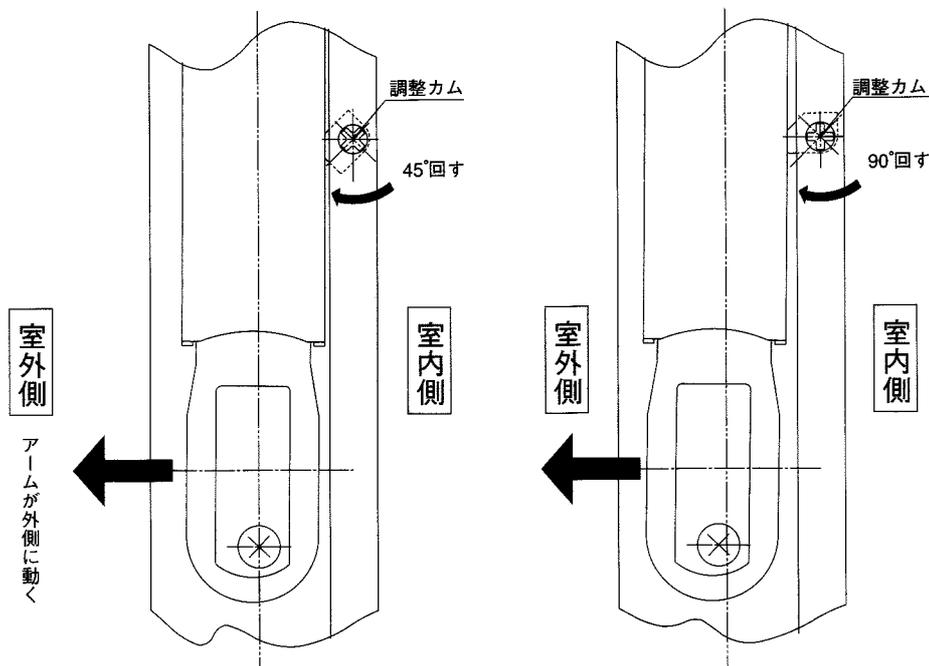


図-19 本図は右勝手を示します。

⑨ ドアクローザの調整 (ドアクローザに同梱の取り付け説明書も併せてお読みください。)

- 速度調整とストップ角度調整を下記要領にて行なってください。
商品切替時等で図示したものと異なるドアクローザが取り付け場合があります。

●速度調整について

- 速度調整区間は、図-20のように第1速度区間と第2速度区間とラッチング区間があります。

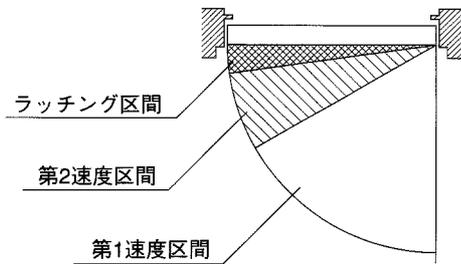


図-20

- 速度調整は、それぞれ個別の調整弁で行ないます。
- 調整は、第1速度・第2速度・ラッチング角度の順に行なってください。(図-21, 22)

ラッチング角度を必要以上に大きくしないでください。大きくしすぎた状況で指を挟むとけがをする恐れがあります。

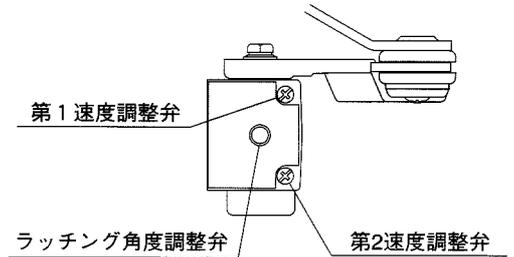


図-21

速くなる  遅くなる

図-22

●ストップ角度調整について

はじめてストップ角度を設定される場合 (図-23)

- ①クリップを引き抜いてください。
(引き抜いたクリップは不要です。)
- ②ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
(ストップ角度は、8~9度間隔で設定できます。
[0~90度間])
- ③開いた位置でフォークアームのA部分を押し上げはめ込みます。ドアを前後に5度ぐらい振りながら押し上げると簡単にセットできます。
(フォークアームがはまり込むとストップ仮止め状態となり、ドアから手を離してもドアが戻りません。)
- ④最後にセットネジをしっかりと締め付けてください。

再度ストップ角度を設定される場合

- ①ドアを開きストップさせておいてください。
- ②セットネジをいっぱいゆるめてください。
(セットネジは外れ止めを付けてありますので、いっぱいゆるむと硬くなりますが、必要以上に無理にゆるめないでください。)
- ③フォークアームA部分をいっぱい引き下げるとストップ装置は解除されます。
- ④その後は『はじめてストップ角度を設定される場合』の手順②③④に従って行なってください。

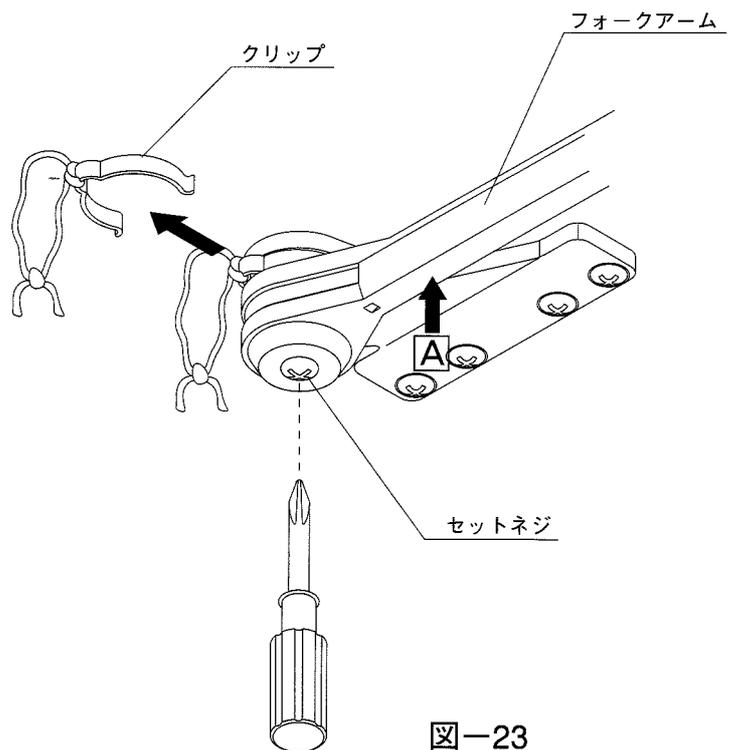
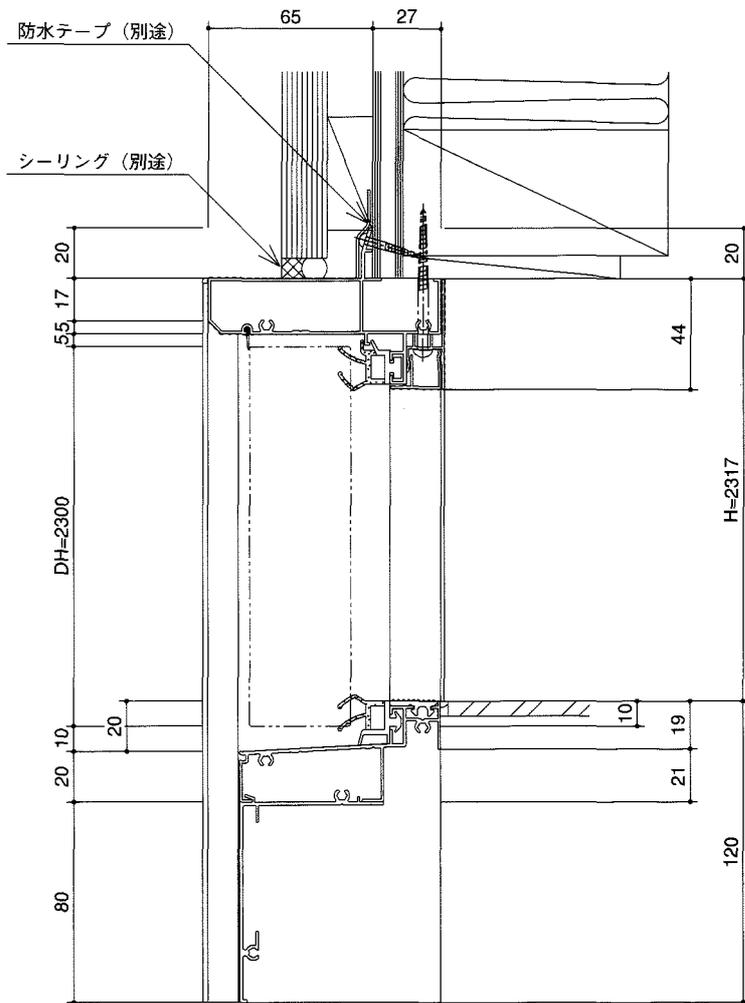


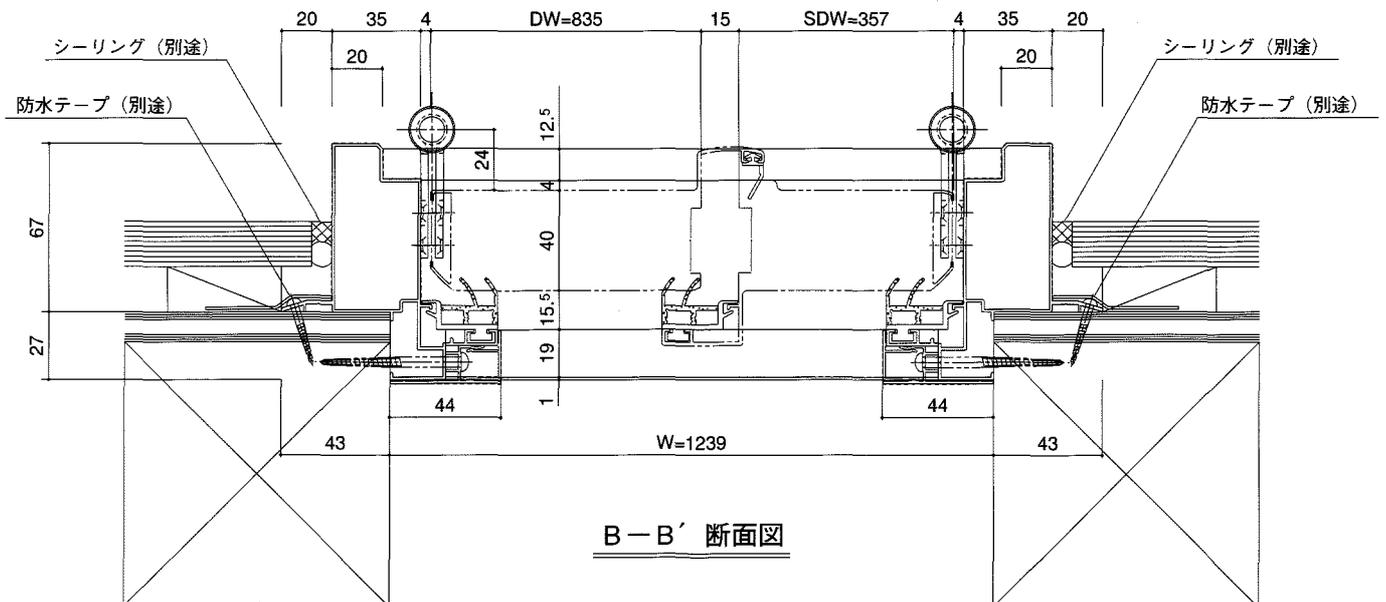
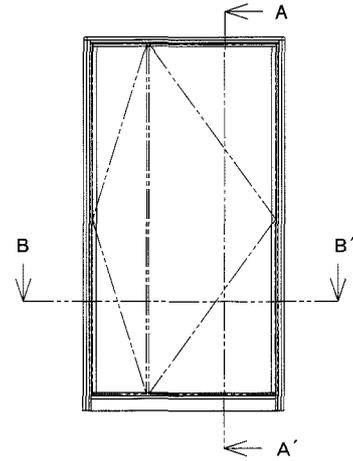
図-23

納まり図 S=1/3

*DKWAATR R[親子枠(幅木付)]を示します。



A-A' 断面図



B-B' 断面図